

2025-2026年度

西脇ロータリークラブ週報



No.16 第2878回 令和7年12月8日

今週の歌:奉仕の理想

プログラム

「卓 話」 井上勝彦会員

会長 吉田 康志 幹事 赤井 浩起

例会日 月曜日 12:30-13:30

例会場 西脇ロイヤルホテル 2F Tel:0795(23)2000

事務局 西脇商工会議所内

〒677-0015 西脇市西脇 990

Tel:0795(22)3901 Fax:0795(22)8739

吉田会長のテーマ

「ロータリアンの自覚と誇りをもってロータリーライフを楽しもう」

修了証の伝達

RLI 研修コース(パート1)修了証 藤原都子会員

委嘱状の伝達

2026-27 年度危機管理委員会委員長 高瀬英夫会員



12月1日(月) 第2877 回例会記録

◎出席 会員数 42 名 (出席免除 4 名・休会 1 名)
出席 39 名 (例会出席 33 名 MU 6 名)

会長の時間 吉田康志会長

本日は12月の第1例会です。西脇ロータリークラブ細則第5条第1節により、年次総会に切り替えさせていただきました。10月27日の例会で次年度理事の立候補を募りましたが、立候補がありませんでしたので、規定により指名委員会を開催し、理事の指名をいただきました。大西指名委員長に発表していただきます。

〈大西指名委員長〉

西脇ロータリークラブ細則第3条1節により、次年度理事で、すでに就任が予定されている5名を除き、新たに5名の次年度理事が決まりましたので、発表いたします。

来住周亮会員、小澤國秀会員、東口喜樹会員、
後藤直樹会員、岡井昭憲会員
以上です。よろしくお願いします。



ただ今発表していただきました次年度理事につきましては、人事案件ですので、拍手を持って承認をお願いします。

【拍 手】

拍手多数と判断して、本件は承認されたものと認めます。規定により、1週間以内に会合を開いていただき、会長エレクト他各委員長の互選をお願いします。

以上をもちまして、年次総会を閉会いたします。

幹事報告

(来 信)

○地区事務所より、

・DX推進小委員会/公共イメージ委員会からのアンケートのお願い

・第46回RYLAセミナー開催のお知らせ及びRYLAセミナー受講生受け入れのお願い

2026年3月12日(木)~15日(日)

於:国民宿舎 小豆島

・2026年台北国際大会 RID2680 ガバナーナイト参加人数調査のお願い

・クラブ管理運営委員会案アンケート報告

○北条 RC より、2025-26 年度東播第3 グループ IM 開催のご案内

2026年2月21日(土) 14:00~

於:小野市うるおい交流館 エクラ

※全員登録です。

※出欠表を各テーブルに配布しておりますので、それぞれの氏名の欄に○×をご記入ください。

○富良野 RC より、会報

(報 告)

・例会終了後、理事会を開催します。

委員会報告

○国際奉仕委員会

岡井昭憲委員

台北国際大会が半年後となりましたので、本日参加される方に、「台北国際大会概要」をお配りしております。日程、旅費、キャンセル等について記載しておりますので、ご確認ください。またパスポートがない方は早めに申請をしていただきますようお願いいたします。

○会員維持増強委員会

小澤國秀委員長

本日、会員増強調査票をお配りしております。皆様の中で推薦いただけるような方がおられましたら、ご記入ください。また情報がない場合は、なしとご記入いただき、提出をお願いします。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



ニコニコ箱

高瀬(英)会員 東播第3 グループゴルフコンペでは当月賞をいただきました。

村上会員 蘆田会員にお世話になりました。

藤原(都)会員 5RC ゴルフ大会では大変お世話になり、ありがとうございます。

※本日のニコニコ 5,000 円

誕生・結婚・連続出席 40,000 円

※本年度累計額 (12/1 現在) 669,386 円

★本日の花：カーネーション、ピンポン花

プログラム

「炉辺会合報告」

○来住周亮会員

出席者：園田、藤原悦、和田、田井、藤井雅、来住周、戸田、藤原由

藤原悦男会員

ロータリーを楽しむために心がけていることは、

- 1) 毎回例会に必ず出席すること
- 2) 心を込めて食事をする
- 3) その後の会員同士の何でもなし雑談を楽しむことである。

藤井雅浩会員

ロータリーの魅力として、IMなどで各クラブの講師の話を聞いて勉強になるし、懇親会では美味しいお酒や料理を楽しみ親睦を深められること。また、卓話などを担当する際、30分や15分のスピーチのために事前にネタを調べ、原稿にすることが必要である。テーマを決めて調べるという積み重ねが勉強になり、それが充実感につながっていると感じている

和田良勝会員
ロータリーのメンバーとの出会いの場を大切にしており、会員からの誘いがあった際には、ありがたく受け入れて参加することを心がけている。そしてロータリーは、アメリカ式では夫婦での参加が基本

であるため、楽しい記憶を残し、お互いに話をするためにも、家族例会などでは必ず妻と一緒に参加することを心がけている

藤原由樹会員

ロータリーに入会した当初、憧れの会社の社長たちの名前をよく聞いており、そうした人たちに毎週月曜日に会えることがシンプルに嬉しいし、楽しいと感じている。また、去年の園田会長の「夢の力」というテーマで、会員の好きなことを共有する機会があり、好きで繋がる仲間ができたことが今の楽しさに繋がったと感じている。

戸田尚秀会員

ロータリーの楽しみは、諸先輩方の「背中」をすぐく見せていただけることだと感じている。仕事の付き合いではない、全く関係ないところでの先輩方とのお付き合いを通じて、自分はそうした立派な人間になれているのかと自身を見つめ直す機会を得られることが、入会して良かったと思える点である。

園田純也会員

1年間の会長職を終えてみると、日々悪戦苦闘の感じがあったが、時間が経つにつれてそれ自体が楽しい経験となった様に思える。会長を経験後思ったことは、やはり人間を成長させる絶好の機会だと思う。これから会長の声がかかった会員に置かれましては『ロータリーを如何に楽しむか?』を含め快く受けていただくようお願いしたい。

○細田俊之会員

出席者：井村、細田、有田、竹内、渡会、笹倉、藤原都

各会員の意見を順不同で報告します。

- ① ロータリークラブの楽しみは漫才とかの楽しみではなくて、高潔な楽しみが必要である。また、ロータリアンとしてはどんな事でも前向きに楽天的に解釈するようにしたいと思う。
- ② クラブ内では役が当たったら面倒くさいと思われるかもしれないが、自分の成長の機会になるとらえていき、そういった成長の変化によって社会に良い影響を与えることが紳士的な楽しみ、ロータリアンの楽しみになる。
- ③ ロータリークラブに入会すると仕事抜きで異業種の方々といろいろな話ができて、それが勉強にもなるし役に立つことがある。
- ④ ロータリーは第一に職業奉仕、第二に親睦だと思うが、職業奉仕で楽しめるかは人それぞれで、親睦は楽しもうと思えばいくらでも楽しめて、地区に出ていろんな人と会っていくのも大事で、そうすれば諸先輩方の話も聞けるしいい経験になると思う。後輩方に言いたいのは、是非世界大会などに行って楽しんで来て欲しい。

- ⑤ 入会して思う事は、初めはもっと堅苦しい雰囲気の団体かと思っていたが、皆様受け止める力があるというか、受容する心があるように思う。また経営者は孤独でもあるが、西脇から地区に行かせてもらうことで色々な事を学べるし、楽しみにもなっている。
- ⑥ 先輩の会員からロータリークラブの楽しみのひとは趣味と遊びであるという意見も聞いた。それで、どうやって他の会員を誘うのかというと、アンケートでも取って参加してみたい行事とか公表してもらい、自分の趣味を書いてもらってクラブ内で共有しておく。それを見て興味のある人はその人に声をかける。その足がかりのようなものを作ったらいい。そしてクラブ報告書などに会員紹介として名前の横に趣味などを記入しておくことで新入会員もそれを基に話しかけやすくなると思う。
- ⑦ ロータリークラブでの一番の思い出は、やはり国際大会に行って、みんなでその国を観光してきたことです。会員同士が海外に行くと、国内旅行より一層親睦が深まると思う。新入会員の方々は機会があればできるだけ国際大会などに出席して楽しむと同時に視野を広げてもらいたい。

○廣中幸司会員

出席者：高瀬英、矢納、井上、赤井、東口、廣中、後藤淳

【ロータリー活動の魅力と楽しみ方】

◎人脈と親睦の重要性

- ・ロータリーの最大の魅力は人脈であり、異業種やそのエリアを代表する方々とのネットワーク作りやコミュニケーションが重要である。
- ・親睦こそが楽しめる要素であり、飲食を伴う活動や旅行、ゴルフ等。

◎例会運営の改善提案

- ・親睦を深めるため、月曜日の昼間開催という形式に変化をつけること(例：数か月に一度の夜間開催)
- ・会員同士が「お互いに腹を割って話せる関係性」や「好き勝手なことを言えるような仲」になりたい。

◎活動への貢献と参加

- ・ロータリーは「機会の扉を開く」場所であり、ロータリーで何かを得るためには、自ら努力し参加する姿勢（他力本願ではなく自力本願）が必要である。
- ・委員会の委員長などの「お役目」を果たすことや自分の意見が取り入れられることは、楽しみの一つである。

【運営と他クラブとの交流】

◎委員会の活性化

- ・各委員会がメンバーを集め、飲食を共にしながら活動することで、委員会の仲間との仲が深まり、より楽しめるようになる。
- ・他クラブの幹事同士の交流が有意義であった経験を参考に、社会奉仕委員会や親睦委員会などで同様の交流を深める形を模索する。

◎地区への参加と学習

- ・地区の会議へ積極的に参加し、他クラブの例会の持ち方などを学び、西脇クラブの運営に取り入れることが重要。
- ・西脇クラブは、例会場がホテルである点や、会長から次の役職への流れがシステムチックに運営されている点で、地区内でレベルが高いと評価されている。

【今後のアクション】

1. ロータリー活動の「楽しみ方」を深めるための親睦活動や例会形式の工夫を検討する。
2. 委員会の活動をさらに活性化し、他クラブとの交流の機会を設ける。

○岡井昭憲会員

出席者：来住泰、吉田、金田、村上、藤田、岡井はじめに

「楽しくなければロータリーではない」吉田会長と村上さんはそう語ります。ロータリーに長く関わるためには、まず楽しむことが大前提。けれどその「楽しみ」は、単なる“わいわい盛り上がる楽しさ”ではなく、ロータリーならではの“人付き合い・奉仕・秩序”の中にある楽しさだといいます。ロータリーは、選ばれた企業人が集う場。だからこそ、そこには秩序・節度・責任ある楽しみ方が求められます。人との関係を楽しみ、学び、支え合うことが、ロータリーの本質的な喜びなのです。

藤田さんの声

Uターンで地元に戻り、地域の交友関係を築きたいと入会。異業種・異世代の仲間との交流が刺激となり、仕事だけでなく人生の学びや相談の場にもなっている。卓話で得る新たな考え方も成長の糧。奉仕活動を通して深まる人と人の絆が、出席する原動力となっている。

「学びは人生の楽しみ」——藤田さんの言葉が、ロータリーの精神を象徴している。

金田さんの声

入会のきっかけは父の代替わり。最初は目的がなく始まったが、挑戦する中で奉仕の価値を実感。勉強会や座談会での交流から新しい刺激と学びを得ることが楽しみに。その積み重ねが、自信をもって他の人を誘うきっかけにもなっている。

「奉仕と学び、その後の語らい——それがロータリーの楽しさ。」

来住泰さんの声

他団体との違いは、幅広い世代や立場の人と関係を築けること。異なる価値観や見方に触れることで、自分の考え方も深まる。それを継続的に味わえるのが、ロータリーの特別な魅力。

「違いを認め、学び合う時間。それこそがロータリーの楽しさ。」

〈まとめ〉

ロータリーの楽しさとは——

- ・奉仕と秩序の中で、人との関係を深めること。
- ・異業種・異世代の仲間と学び合い、刺激を受けること。
- ・奉仕・勉強・語らい、そのすべてに“心の豊かさ”を見いだすこと。

そして、吉田会長・村上さんの言葉を借りるなら——「楽しくなければロータリーではない。続けるためには、楽しさが必要だ。」

それはまさに、

“大人の青春”——ロータリーでしか味わえない喜び。

○蘆田裕三会員

出席者：藤本、藤井治、高瀬幸、蘆田、西山、小澤、藤井英、後藤直、上郡

〈会話の要約〉

炉辺会合の全体的な雰囲気としては、温かな感謝と懐かしさに包まれつつ、コミュニティを再活性化しようとする前向きな高揚感が漂っていました。

全体の感情は一貫してポジティブで、感謝と郷愁が核になりながらも、実務的な提案へと自然に移行していき、過去の思い出話から現状の課題認識、そして具体的な改善策の提示へと段階的に深まり、エンゲージメントは中～高水準で維持していました。

後半では運営面（承認プロセス、会員増強、予定調整）と参加形態の多様化（飲まない人の会、ヘルシー料理）に話題がシフトし、落ち着いた建設的な熱量が続きました。

〈要旨〉

会話は、ロータリーでの楽しさや意義の共有から始まり、週1回の例会後の非公式な交流がつながりを深める「宝」であり「輝き」だという共通認識が語られました。クラブ人数の維持や地域への影響に誇

りを持ちつつ、かつての親睦会やクリスマス行事を振り返り、「みんなが寄れる」場を増やしたいという願いと提案へとつながりました。

次の展開では、例会を夜開催にして飲み会をセットにする案や、コロナ期の趣味アンケートを活用した釣り・ソフトボール・ワイン会の具体的な回想が続き、淡路での釣りやロイヤルホテルのワイン会などの記憶が活気を添え、年配メンバーの活躍や酒豪の話にもふれつつ、参加率向上に向けた工夫が語られました。

終盤は、会員増強の難しさと承認プロセス、12月の予定や会食の段取り、囲碁旅行などの活動アイデアもでて、さらに、お酒を飲まない人向けの会の提案や、野菜蒸し・豆腐中心のヘルシーコース体験の共有など、参加形態と食の選択肢を広げる具体策が示され、誰もが楽しく参加できる場作りへの前向きな実務的議論で締めくくられた。

〈各人のひとこと〉

- ・毎週出会えて、一番楽しくさせていただいている宝物である。
- ・入会1年くらいして個の輪もできてきて楽しくなってきた。例会以外の非公式な交流も楽しい。
- ・人との出会いが宝であり輝きであり最も楽しい事
- ・良い方々との出会いが楽しい
- ・父親くらいの人とも気さくに話せる
- ・会議所の上役もロータリーの会員がしめており、すごい団体だと思う
- ・いろいろ勉強させていただける
- ・ロータリーの話よりお酒の席が楽しい。有意義な時間を共有したい。
- ・昔に比べると集まる機会が少ないと思う。もっと皆が集まれる機会を増やすべき。
- ・お酒を飲まない集まりがあってもいいかも
- ・女性会員の増加が出席率向上に寄与するのではないかな
- ・クラブ人数を維持できていることへの誇りと、地域への影響力も大切
- ・親睦会・クリスマス行事など、皆が集まれる機会の再活性化が必要である過去のレクリエーションとして…ワインの会、淡路や明石での釣り、ソフトボール、囲碁旅行、花見、ゴルフ
- ・例会を夜開催にして、飲酒をともなっではどうか等々の意見がでました。

今後のプログラム

12月15日(月) 担当：社会奉仕委員会

12月29日(月) 休会（定款により）

1月12日(月) 休会（成人の日）

12月22日(月) クリスマス例会 18：30～

1月7日(水) 新年例会 18：30～

1月19日(月) 職業奉仕委員会